

果樹栽培にチャレンジ!

ふくい果樹 第5号
平成26年8月

風味豊かな夏の味覚〔スモモ〕

7月に入ると、くだもの売り場にスモモが並び始めます。スモモというと、酸っぱいイメージがありますが、品種改良により、甘みが多くてジューシーな品種が多く登場しています。

直売所向けなら完熟での出荷が可能で、県外産との差別化ができます。夏にさわやかな味覚を届けてくれるスモモは、とても魅力的です。

バックナンバーはこちら

ふくい果樹

検索



スーパーの棚に並ぶスモモ



貴陽 (きよう)

200グラムを超える大きな果実が特徴。酸味と甘みのバランスが良く、贈答用にも使われる高級品種。



ハニーハート

大きさは80グラム程度のハート型をした果実が特徴。果肉が赤く、甘みがたっぷりの品種。

果樹の棚栽培の利点

果樹園に行くと、金属のワイヤーに枝をはわせている栽培を見かけます。これは、棚栽培といい、ブドウ、キウイフルーツ、ナシ、スモモ等の栽培に使われています。

スモモは、棚がなくても栽培は可能ですが、枝を棚面に拵げていくことで、植えてから早期に花芽が付くようになり、風による傷果や落果を抑えることができます。県の園芸研究センターでは、より栽培管理が楽になるようなスモモやモモの仕立て方を、研究しています。

果樹棚は、10畝あたり約100万円の初期投資が必要ですが、生産性や品質の向上が期待できる他、周囲を囲えば獣害対策にも活用できます。



スモモの棚栽培 (園芸研究センター)

棚栽培の目的

	棚が必要な理由	樹種の例
①	つる性で自立できないため	ブドウ、キウイフルーツ
②	花芽の付きが良くなるため	ナシ、スモモ
③	風による傷果や落果を防止するため	全樹種

果樹栽培に興味をお持ちの方は、下記までご連絡ください

◆福井県農林水産部生産振興課 園芸振興グループ 堀江

福井市大手3丁目17-1 福井県庁内

(Tel.0776-20-0432、FAX0776-20-0650、Mail seisan@pref.fukui.lg.jp)

◆福井県農業試験場園芸研究センター ウメ・果樹研究グループ 窪田

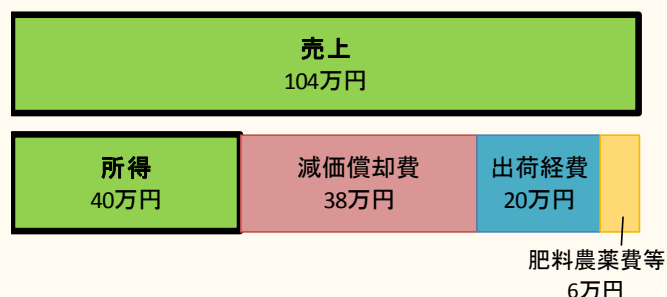
三方郡美浜町久々子35-32-1

(Tel.0770-32-0009、FAX0770-32-5243、Mail engei-ken@pref.fukui.lg.jp)

スモモの経営試算と年間作業

(1) 経営試算

スモモは、10アールあたり約104万円（500円×2,000kgを想定）の売り上げが期待できます。経費としては、多目的防災ネットや果樹棚、かん水設備にかかる減価償却費、次いで出荷経費が多くかかります。売上から経費を差し引いた所得は、約40万円が見込めます。

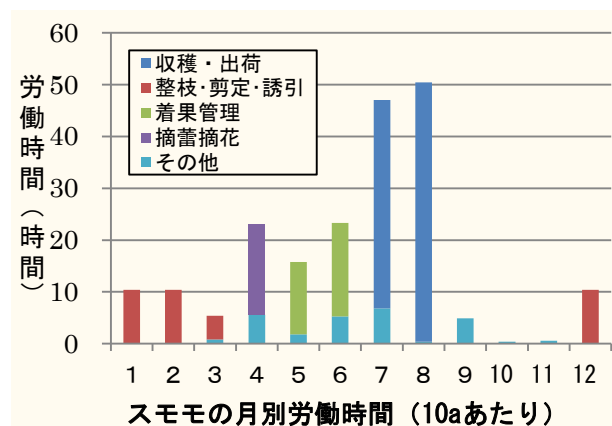


スモモ栽培の収支例(10aあたり)

(2) 年間作業

スモモの栽培は、着果管理、収穫・出荷作業を中心に、4～8月にかけて多くの作業が必要で、年間の作業時間は10アールあたり約230時間を要します。

スモモは自分の花粉では結実しないため、必ず受粉作業が必要になります。4月上旬に開花して、30～40日後に予備摘果、50～60日後に仕上げ摘果を行います。また、直売向けには、完熟したものを収穫するので、丁寧な作業が必要です。



スモモの月別労働時間(10aあたり)



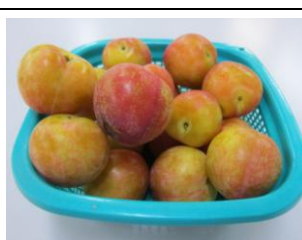
受粉

実を確実に成らせませす



摘果

実の数を適正にします



収穫

パック等に詰めます



せん定、誘引

余分な枝を整理します

～ブドウ栽培にチャレンジ研修会～ 参加者募集

県では、新たにブドウ栽培を始める方を対象に、研修会を開催します。県内の栽培事例を見学して、あなたもブドウ栽培にチャレンジしませんか。

日時：平成26年8月28日(木) 13:15～16:45

場所：〈集合〉県農業試験場(福井市寮町)

福井市内ブドウ園 2か所

内容：ブドウ品種の食べ比べ

県内栽培事例の見学 など



※ 参加ご希望の方は、県庁生産振興課までお申込みください (0776-20-0432)